

資料6 環境関係表彰受賞者

1 令和3年度環境保全功労者等の表彰(環境大臣表彰 令和3年6月)

(1)受賞者

＜地域環境保全功労者＞

山梨県立上野原高等学校(上野原市)
北杜市立明野中学校(北杜市)

＜地域環境美化功績者＞

市川三郷町立市川南中学校(市川三郷町)
甲府市立大國小学校(甲府市)

(2)功績概要

＜地域環境保全功労者＞

・山梨県立上野原高等学校(上野原市)

地域への感謝の意を込めてJR上野原駅及び学校周辺通学路の清掃活動を継続した。また、学校設定科目の「環境総合科学」の授業を通して生徒の環境保全意識を涵養し続けている。

・北杜市立明野中学校(北杜市)

気象観測の活動を通じて、環境保全、地域の自然資源の有効利用の大切さを学ぶとともに、地域の自然環境の維持・保存に誇りと愛着を育む活動を長年にわたり実践している。

＜地域環境美化功績者＞

・市川三郷町立市川南中学校(市川三郷町)

昭和63年より学区内道路、通学路、JRの駅周辺の清掃を行う「地域クリーンアップ作戦」を通して、地域貢献や環境美化活動を長年継続して実施している。

・甲府市立大國小学校(甲府市)

環境学習を長年継続的に行うとともに、環境美化・保全活動に関する様々な活動にも全校で取り組んでおり、地域の環境美化にも貢献している。

2 令和3年度山梨県環境保全功績者表彰(知事表彰 令和3年6月)

(1)受賞者 団体:甲府市立北東中学校(甲府市)

団体:南アルプス市立芦安小学校(南アルプス市)

団体:山梨県立巨摩高等学校 自然科学部・山岳部(南アルプス市)

団体:認定NPO法人未来の荒川をつくる会(甲府市)

(2)受賞理由 多年にわたり、地域の環境保全活動に尽力するとともに環境保全思想の普及・啓発に努め、地域の模範となっている。

3 令和3年度「ふれあいの森林づくり」(国土緑化推進機構理事長賞 令和3年8月)

(1)受賞者

笛吹市

(2)功績概要

同市は、森林の荒廃を防ぐことを目的に、森林整備協定による企業の植樹活動などを積極的に進めることとしており、市の意向と、全国各地で森づくり活動に取り組んでいる認定 NPO 法人が山梨県内で活動を行いたいとの要望にマッチしたことから、森林所有者、地元森林組合との四者による森林整備協定を2010年(平成22年)4月に締結した。そして活動を行う森林を「Present Tree for はなの森」と命名し、2020年(令和2年)までの10年にわたる里山再生活動をスタートさせた。

また、同様の協定について、2016年(平成28年)11月には「Present Tree 笛吹みさか」、2018年(平成30年)5月には「笛吹境川ケヤキの森」、2020年(令和2年)7月には「Present Tree 笛吹芦川」・「Present Tree 笛吹境川」の5箇所まで締結した上で、現在活動を行っている。

さらに、2021年(令和3年)3月には、企業や団体の森づくりを支援する「やまなし森づくりコミッション」の立ち会いの下、森林整備のボランティア活動に取り組む企業、地元の林業事業者の三者による森林整備協定を2箇所まで締結し、現在までに7箇所、約30haで協定を締結し、森林の保全・育成、活用を進めている。

4 令和3年度全国育樹活動コンクール(国土緑化推進機構理事長賞 令和3年8月)

(1)受賞者

特定非営利活動法人なんぶ里山研究会

(2)功績概要

研究会では、南部町内の荒廃した森林や竹林の整備を毎年30箇所程度で実施しており、この内、特に竹林の整備に力を入れており、これまでに町内の荒廃した竹林の間伐125箇所、約16haの整備を行っている。

竹林整備を進めるにあたっては、間伐した竹の有効活用が大きな課題であったが、間伐した竹をチップ化し、堆肥として活用する取り組みを進めており、製造した堆肥は、農地等に施肥され、農作物の収穫量の増加に繋がっている。

また、幼竹の活用に向けメンマ作りを始め、製造したメンマの一部を県内の漬物店に提供したほか、地元の道の駅などで販売するとともに、食品会社と連携して安定的にメンマを製品化し供給する体制を構築している。

さらに、跡見学園女子大学やフェリス女学院大学と協働で南部町内の小学校の校庭に間伐竹材を使用した踏竹を設置するなど、学生とともに同町の観光政策・地域活性化政策の提案を行っている。

また、大手旅行会社と連携して県内外から竹林整備活動等の参加者を募り、竹林整備や竹細工等を体験してもらうとともに、地元住民の手作り郷土品等の展示・販売も行い、地元住民とのふれあいの場を創出し、地域活性化に繋がっている。

5 令和3年度全国学校関係緑化コンクール

(学校林等活動の部 国土緑化推進機構理事長賞 令和4年2月)

(1)受賞者

上野原市立秋山小学校

(2)功績概要

同校は、地域の森林組合の指導の下、児童と教員が学校林整備を行っており、地域社会との連携を取りながら学校林活動を行っている。

また、体験後には伐倒木を利用したシイタケの植菌体験を行い、木の活用について学んでいる。

(学校環境緑化の部 国土緑化推進機構理事長賞 令和4年2月)

(1)受賞者

富士川町立増穂南小学校

(2)功績概要

同校は、PTA と共同で花壇づくりや野菜栽培を行うほか、地域の有志団体とのコキアの植栽や、学校運営協議会や地域組合の指導の下、地元の特産品であるゆずについて学習・収穫体験を行い、学校内のゆずの木の育成に活かしている。

また、緑化活動の成果を、地域住民を招待した発表の場を設けて発表するなど、地域社会と広く連携を持っている。また、ゆずの他に、地域の寺で有名なアジサイを地域おこしの意味合いも兼ねて校内で栽培しており、地域に根差した学校緑化を行っている。

6 令和3年度緑化功労者(林野庁長官賞 令和4年2月)

(1)受賞者

宮下太貴

(2)功績概要

氏は、昭和55年から民有林の造林事業をはじめ、造園業にも従事してきた。優良造林地の造成には、健全な苗木が必要との認識から、苗木生産にも取り組み、その実績には高い評価がある。造林業・苗木生産以外においても、氏は、富士北麓地域の林業関係者や異業種の会員からなる北富士林業研究会の会長として、若手林業従事者の育成、林業技術の向上・普及に務めている。

また、地元財産区有林において、氏がリーダーとなって区有林を整備し、林業体験会などを活発に行い、地域林業の活性化に貢献している。

7 令和3年度さくら功労者(令和3年4月)

(1)受賞者

しだれ桜を守る会

(2)功績概要

同会は平成31年に山梨市牧丘地区の地域住民によって組織され、同地区の「乙ヶ妻(おつかづま)のシダレザクラ」を保護・育成している。シダレザクラは推定樹齢が250年、樹高が8.7mあり、市の天然記念物に指定されており牧丘地区のシンボルとなっている。花見や盆踊りの会場として地域住民から親しまれているシダレザクラを将来にわたり保護・育成するため、草刈りや肥料散布を行うほか、訪れた人楽しんでもらえるよう遊歩道の整備や案内板の設置などを行っており、桜の保護と利用者の利便性の向上に効果がある活動をしている。

(受賞者の氏名は敬称略で記載しています)